

# 令和3年度指定管理者評価結果

評価対象期間	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	施設所管課	生涯学習課
施設名	夢広場はるひ（清須市立図書館・清須市はるひ美術館・はるひ夢の森公園）		
指定管理者	TRC・名古屋三越グループ共同事業体		
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日		

## 評価結果

評価項目	評価結果	評価、改善すべき点等
1. 施設サービスの実施体制	A	人員体制、利用料金の取り扱い、記録管理、個人情報保護などについて適正に行われている。また、訓練用消火器を使い、消火器の扱い方などを学ぶなどの防災訓練を2回行い、職員の防災教育に努めた。
2. 市民サービスの内容や水準	A	利用者対応、利用案内、苦情などについて概ね問題なく対応できている。 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、美術館においてはワークショップやアーティストトーク、館長アートトークなどを開催している。図書館においては、おはなし会や講座、イベントなど開催や、図書館キャラクターネーミング募集を行うなど市民参加に努めた。 連携事業については、市歴史資料展示室、名古屋芸術大学、麒麟ビール（株）などと連携し、ワークショップやセミナーなどを行い、図書館・美術館の来館及び利用促進を図った。
3. 施設の収入支出の状況	A	館内等の節電に努めているが、燃料費高騰等により光熱費の支出が増えた。美術館においては、市にゆかりのある作家の展示の開催や、様々な視点から企画展示を行うなど、市民が優れた絵画にふれる機会の提供に努めている。
総合評価	A	図書館の入館者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響による臨時休館などにより、コロナ禍以前には及ばなかった。しかし、貸出冊数は、開館以来過去最高（287,891冊）となった。 美術館においては、企画展や特別展において、展示方法を工夫するなど、地域に親しまれる美術館を目指している。 美術館長のアートトークは図書館で開催し、100回を迎えた。図書館1階ギャラリーでの作品展の開催、図書館だよりに館長のロングインタビューを掲載するなど、異なる施設でのコラボ企画を行い各施設の興味・関心を引くことができた。 公園利用についても更なる有効活用を期待する。 図書館、美術館、公園とも施設の管理を概ね適切に行い、市民等の利用促進を図ることができた。

S＝優良、A＝良好、B＝課題含、C＝要改善

## 参考統計

### ○図書館関係

（各年度3月末現在）

	年度	入館者数	貸出人数	貸出冊数
図書館	1	180,434人	54,135人	263,904冊
	2	98,279人	47,880人	250,986冊
	3	129,461人	55,063人	287,891冊

### ○美術館関係

	年度	入館者数	開館日数	観覧料等収入額
美術館	1	10,767人 （うち特別展 3,114人）	248日	2,261,420円 （うち特別展 916,200円）
	2	23,378人 （うち特別展 17,272人）	216日	9,933,580円 （うち特別展 9,144,350円）
	3	9,321人 （うち特別展 1,930人）	239日	1,425,690円 （うち特別展 1,020,150円）
公園	1	—	—	909,820円
	2	—	—	579,830円
	3	—	—	624,480円